

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千五十九號

昭和十三年十一月十一日(金)

海軍大臣官房

○令 達

官房第五六二九號

提 要

昭和十三年官房第四一四七號中「海軍警査 二人^{内兼務一人}」

ヲ「海軍警査 兼務五人」ニ改ム

同年官房第五〇五二號支那方面艦隊軍法會議ノ項中警査ノ欄「兼務二人」ヲ「兼務五人」ニ改ム

昭和十三年十一月十日

海 軍 大 臣

(参照) 昭和十三年官房第四一四七號ハ第三艦隊軍法會議ニ法務官、録事及警査配員ノ件ナリ(八月十二日公報(部内限))
同年官房第五〇五二號ハ法務官、録事及警査配員ノ件ナリ
(十月五日公報(部内限))

○辭 令

海軍豫備中尉 石川 忠三郎

青島海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額參千

六百圓ヲ給ス(ハ七海軍省)

○款 雜

○事務所設置

佐世保海軍建築部馬公出張所事務所ヲ高雄海軍通信隊内ニ設置シ十月二十八日ヨリ事務ヲ開始セリ

海軍公報(部内限) 第三千五十九號 昭和十三年十一月十一日

一三二九

1135

○艦船所在

▲印ハ「ハ」水ノ指定ヲ要セズ

○十一月十一日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲、五十鈴▲、山城、春日▲、木曾、長門、陸奥、口島海、摩耶

▽曉▲、漣▲、狹霧、▽響▲、雷▲、電▲、羽風▲

▽伊一▲、伊二▲、伊三、伊四、▽伊六▲、伊七▲

掃二

富士▲、洲崎

(飛龍)▲、(高崎)▲、(劍埼)▲

【長浦】▽旗風、▽秋風、山雲、峯雲、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊五、▽伊一二三、伊一二四

掃五

【石川島】太刀風

(掃一○)▲

【横濱】

掃六▲

【浦賀】

北上▲

夕風▲

(霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲

【館山】

赤城

澤風▲

【清水】

▽夏雲、朝雲、神風

【大湊】

波風、早苗

大泊

【國館】

若竹▲、吳竹▲

矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲、加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、▽大鯨、▽熊野、鈴谷、三隈

▽夕顔、▽白菊、葵、萩、▽磯波▲、綾波、浦波▲

▽初雪、白雪、吹雪、朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一▲、▽伊五三▲、伊五五、

▽伊五四、呂三三、▽伊五七、伊五六、

伊五八、▽伊七二、伊七三、伊七一、

▽伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、

▽伊一二一、伊一二二、▽伊七〇、伊六八

攝津、間宮、室戸

(伊一六)▲

(黒潮)▲

【大阪】

伊五四▲、呂五七▲、呂五九

【神戸】

(瑞穂)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】

早鞆▲

【相玉】

(掃七)▲

【因ノ島】

松風▲、春風▲

【江田内】

平戸▲

【別府】

(千代田)

【舞鶴】

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風

伊五二▲

(蔽)▲、(陽炎)▲、(掃九)▲

海軍公報(部内限)第三千五十九號

昭和十三年十一月十一日

一三三一

【佐世保】

榛名▲、那智▲、常磐▲、▽名取▲、青葉、
衣笠、▽霧島、金剛▲、▽阿武隈
梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、重▲、▽夕風▲、
朝風▲、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、
▽大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、▽野風、
文月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▽呂六六、
呂六五▲、呂六七、▽呂六八、呂六三、
▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六四、
伊六一、伊六二、伊六九

雁▲
敷島▲、隱戸、知床、野島

【長崎】

(明石)▲
羽黒▲
佐多▲
(利根)▲(筑摩)▲

【鎮海】

▽葦、柿、楡
【作業地】▽沖島、出雲、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、
八重山、白鷹、▽川内、▽足柄、▽球磨、
▽妙高、多摩、▽天龍、龍田、▽長良、▽加賀、
神威、能登呂、勝力、千歲、迅鯨、▽那珂、
由良、鬼怒、▽神通、▽蒼龍、龍驤、駒橋、
▽八雲、磐手

【航海中】

栗、梅、蓮、▽夕立、村雨、春雨、五月雨、
▽白露、有明、夕暮、時雨、▽江風、海風、
涼風、山風、▽水無月、長月、▽薄、藤、
蕙、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、夕月、
望月、三月月、▽追風、疾風、▽蓼、蓬、
菱、▽島風、沙風、灘風、阜月、▽臘、
曙、湖、▽天霧、朝霧、夕霧、▽白雲、薄雲、
叢雲、東雲、▽陸月、卯月、彌生、如月、
▽隼、鶴、鴨、鴻、▽千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、▽鳩、鷺、雉
▽掃一、掃三、掃四、▽掃一六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
▽朝日、膠州、鶴見

尻矢

(十月二十日横須賀發—羅府へ)

石廊

(十月二十八日「ホノルル」發—吳へ)

沼風

(九日博多發—沖繩沖へ)

▽矢風

(十日豊後水道發)

襟裳

(十日相生發—吳へ)

鳴戸

(十日徳山發—佐世保へ)

海軍公報 (部内限) 第三千六十號

昭和十三年十一月十二日(土)
海軍大臣官房

令 達

官房機密第六〇五三號 昭和十三年十一月十一日
ニテ本號廢止
 分ノ間第五艦隊軍法會議ノ給與及其ノ他ノ經費支拂
 厦門特務部員タル主計科士官ヲシテ之ヲ掌理セシム
 昭和十三年十一月十一日
 海軍大臣

(限) 廢止

官房機密第六〇五六號 昭和十三年十一月十一日
ニテ本號廢止
 分ノ間廣東方面ニ在ル艦船部隊等ニ於ケル經費支拂
 本年官房機密第五六四三號ニ準ジ軍用手票ヲ使用ス
 シ
 昭和十三年十一月十二日
 海軍大臣

(参照) 本年官房機密第五六四三號ハ揚子江流域ニ於ケル軍用
 手票使用ニ關スル件ナリ
 官房第三一五七號ノ一
 佐世保海軍工廠保管中ノ舊魚雷監視櫓ヲ改造セルモノ

海軍公報 (部内限) 第三千六十號 昭和十三年十一月十二日

ヲ雜役船ニ編入シ其ノ船種、公稱番號、所屬等左ノ通
 定ム
 昭和十三年十一月十二日
 海軍大臣

船種	公稱番號	所屬	定數別	記事
橋船	第三五三號	佐世保海軍港務部 (第五艦隊司令部供用)	臨時附屬	
同	第三五四號	(同)	同	
同	第三五五號	(同)	同	
同	第三五六號	(同)	同	

通牒

官房第五六四〇號
 昭和十三年十一月十二日
 海軍次官

一三三三

各廳長殿

渡洋進攻海軍航空隊ノ勤務員ニ對スル
敘勳年從軍加算ニ關スル件通牒

支那事變ニ關シ渡洋進攻海軍航空隊ノ勤務員ニ對シテ
本年官房第三二七四號第二ノ一ニ準シ左記ノ通敘勳
年ヲ加算セラルルコトニ定メラレ候
尙昭和十三年六月十七日以後ノ分ハ追テ定メラル

記

部 隊 名	加算ノ始期	加算ノ終期	加算率 (一月ニ付)
木更津海軍航空隊 (本隊)	昭和二三、八、二五	昭和二三、二、二九	三箇月
鹿屋海軍航空隊 (本隊)	昭和二三、八、二四	昭和二三、二、二〇	三箇月
高雄海軍航空隊	昭和二三、四、二七	昭和二三、六、二六	三箇月

官房第五五六號ノ二

昭和十三年十一月十二日

海 軍 省 副 官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫眞撮影ニ
關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ當分ノ間左記ニ依ルコトト御了知
相成度

記

一、報國第二二八號(平北官吏號)

機 種 艦上戦闘機

座 席 一

全 幅 一一・〇米

全 長 七・五米

全 高 三・〇米

二、寫眞撮影 特ニ許可ヲ得タルモノノ外禁止

報國號第三號ノ一五ニ依リ本號自然消滅
消滅和十三年十一月十二日

海軍省經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

軍用手票使用ニ關スル件通牒

廣東方面軍用手票使用ニ關シ今般官房機密第六〇五六
號ヲ發布相成候處之ガ實行ニ關シテハ本年經豫機密第
三號ノ一一ニ準シ處理ノコトト了知相成度

○ 辭 令

廣島監理官ヲ命ス(其ハ海軍省)
吳海軍工廠水雷部部長兼海軍總
 政本部造兵監督官海軍造兵中佐
 山下兼純

○雜款

○特設運送船金龍丸行動豫定變更(十一月五日
本欄参照)

地名	着	發
吳	十一月九日	十一月九日
神戶	十一月十日	十一月十日
大坂	十一月十日	十一月十日
横須賀	十一月十日	十一月十日
大神戶	十一月十日	十一月十日
大坂	十一月十日	十一月十日
吳	十一月十日	十一月十日
佐保	十一月十日	十一月十日
作地	十一月十日	十一月十日
基隆	十一月十日	十一月十日

○殘務整理事務所設置
 特設病院船橋丸殘務整理事務所ヲ本月八日吳海軍病院
 内ニ設置セリ

海軍公報(部内限)第三千六十號 昭和十三年十一月十二日

一三三五

○艦船所在
指定ヲ要セズ

○十一月十二日午前十時調

【横須賀】 對馬、夕張、鳳翔▲、五十鈴▲、山城、春日▲

長門、口陸奥、口鳥海、摩耶

口曉▲、漣▲、狹霧、口響▲、雷▲、電▲、羽風▲

口伊一▲、伊二▲、伊三、伊四、口伊六▲、伊七▲

掃二

富士▲、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】 口旗風、口秋風、山雲、峯雲、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、伊五、

口伊一二三、伊一二四

掃五

【江ノ浦】 呂五八

【石川島】 太刀風

(掃一○)▲

【芝浦】 木曾

【横濱】 掃六▲

【浦賀】 北上▲

夕風▲

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】 赤城

【清水】 口夏雲、朝雲、神風

【大湊】 波風、早苗

大泊

【函館】 若竹▲、吳竹▲

【吳】 矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲

加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、口大鯨、

口熊野、鈴谷、三隈

夕顔、口菊、葵、萩、口磯波▲、綾波、浦波▲

口初雪、白雪、吹雪、朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一▲、口伊五三▲、伊五五、

呂三四、呂三三、口伊五七、伊五六、

伊五八、口伊七二、伊七三、伊七一、

口伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、

口伊一二一、伊一二二、口伊七〇、伊六八

攝津、間宮、室戸、襟裳

(千代田)、(伊一六)▲

【大阪】 (黒潮)▲

【神戸】 伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】 早鞆▲

【玉】 (掃七)▲

【因ノ島】 松風▲、春風▲

【江田内】 平戸▲

【舞鶴】 吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風

伊五二▲

【佐世保】

(笹) (陽炎) (掃九) ▲
榛名 ▲、那智 ▲、常磐 ▲、▷名取 ▲、青葉、
衣笠、▷霧島、金剛 ▲、▷阿武隈
梨 ▲、竹 ▲、榎 ▲、桃 ▲、柳 ▲、檜 ▲、葦 ▲、▷夕風 ▲、
朝風 ▲、▷若葉 ▲、初霜 ▲、子日 ▲、初春 ▲、
▷大潮 ▲、朝潮 ▲、滿潮 ▲、荒潮 ▲、峯風、▷野風、
文月

呂三〇 ▲、呂三一 ▲、呂三二 ▲、呂六〇 ▲、
呂六一 ▲、呂六二 ▲、呂六四 ▲、呂六六 ▲、
呂六五 ▲、呂六七 ▲、▷呂六八 ▲、呂六三、
▷伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊六四、
伊六一、伊六二、伊六九

【長崎】

敷島 ▲、隱戸、知床、野島、鳴戸
(明石) ▲
羽黒 ▲

佐多 ▲

(利根) ▲、(筑摩) ▲

【那覇】

沼風

【鎮海】

▷葦、梯、楡
【作業地】▷沖島、出雲、▷安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
堅田、比良、保津、熱海、二見、殿島、
八重山、白鷹、▷川内、▷足柄、▷球磨、
▷妙高、多摩、▷天龍、龍田、▷長良、▷加賀、
神威、能登呂、勝力、千歲、迅鯨、▷那珂、

由良、鬼怒、▷神通、▷蒼龍、龍驤、駒橋、
▷八雲、磐手

栗、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、
▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、
涼風、山風、▷水無月、長月、▷藤、
葛、▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、夕月、
望月、三月月、▷追風、疾風、▷蓼、蓬、
菱、▷島風、汐風、灘風、阜月、▷朧、
曙、潮、▷天霧、朝霧、夕霧、▷白雲、薄雲、
叢雲、東雲、▷曉月、卯月、彌生、如月、
▷隼、鶴、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、▷鳩、鷺、雉

【航海中】

尻矢 (十月二十日横須賀發—羅府—)
石廊 (十月二十八日「ホルル」發—吳—)
▷矢風 (十二日豊後水道發—吳—)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十三年十一月十二日(土)

○ 通 牒

人祕第五一號ノ六

昭和十三年十一月十二日

海軍省 人事局長

各 應 長 殿

支那事變第四回功績概見表ニ關スル件申進

首題ノ件左記ニ據リ調製シ來十二月末日迄ニ到達スル様所屬長官經由進達相成度

記

一、期 間

自昭和十三年五月一日至昭和十三年十一月末日

二、様 式

應名支那事變第四回功績概見表

應 長 官 氏 名 圖

海軍公報 (部内限) 號外

1143

區分	功績等級	期	間	作戰行動、事變關係業務等	成	果	參考事項	記	事
<p>所屬長官 (司令官) 所見</p>									
<p>備考</p>									
<p>(一) 區分欄ニハ海軍官制ニ依ル同一所轄内ノ艦船、隊、部、課等ヲ記載スルモノトシ作戰行動、事變關係業務、成果等功績等級ヲ異ニスル毎ニ區分シテ記載スルコト</p>									
<p>(二) 功績等級ハ一戰團毎ニ又ハ所要ノ都度所屬長官ヨリ通達アリタル功績等級標準ヲ基準トシテ各戰團、作戰行動、事變關係業務等ニ於ケル參加狀況其ノ他ヲ參酌シテ細分シタル功績等級ヲ附ス</p>									
<p>(三) 功績ナシト認ムル期間ニ於テモ功績等級欄ニ「無功績」ト記シ行動業務ノ概要ヲ參考事項トシテ記載ス</p>									
<p>(四) 作戰行動、事變關係業務等ニシテ特ニ戰果ニ好影響ヲ齎ラセリト認ムル事項ハ連記セズ特ニ一項ヲ設</p>									

ケテ記載ノコト

(五) 部外ノ團體等ニシテ事變ニ關シ直接海軍ノ行動ヲ援助シ功績アリタルモノノ功績概見表モ前各項ニ準

シ關係廳長ニ於テ調製スルモノトス

(六) 任務報告、事變關係行動又ハ業務ニ關スル主要發受信寫眞ニ行動圖、美談集其ノ他功績審査上必要ト認ムル圖誌ハ全部本表ニ添付ス但シ事變日誌、戰鬥詳報等海軍省宛提出ノコトニ定メラレタル書類及之等ニ記載濟又ハ記載豫定ノモノヲ除ク

海軍公報 (部内限) 第三千六十一號

昭和十三年十一月十四日(月)
海軍大臣官房

○通牒

經豫機密第三號ノ一六

昭和十三年十一月十二日

海軍省 經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

支那事變派遣部隊經費支辨軍用手票取扱

手續ノ實行方ニ關スル件通牒

十月三十一日經豫機密第三號ノ一三ヲ以テ通牒ノ首題ノ件第一號ニ掲グル日本銀行代理店ノ外左記代理店ニ於テモ軍用手票ノ排出ヲ受ケ得ルコトニ大藏省ト協議濟ニ有之候

記

高雄代理店

澎湖代理店

航本機密第八五〇八號

昭和十一年航本機密第二〇九七號別冊中左ノ通改正ス

昭和十三年十一月十日

海軍航空本部長

第二篇機體構造第三章胴(艇)體中三、〇、〇四ノ項ヲ削除ス

第五章動力關係裝置備裝、第一節發動機、發動機架及其ノ裝備中

五、一、一〇ノ項ホ「排氣管開口部ハ發動機覆金ヨリ一〇〇耗以上隔タリ居ルコト」トアルヲ

「排氣管開口部ハ發動機覆金ヲ過熱セシメザル程度ニ覆金ヨリ隔テ要スレバ該部附近覆金ノ一部ハ不銹鋼若ハ耐熱金屬鋁ヲ使用スルモノトス」ニ

同項中(ト)次ニ左記ヲ加フ

(チ)星型發動機集合排氣管ノ如ク發動機覆内ニ收メラレタルモノニアリテハ特ニ通風冷却ヲ考慮シ排氣管周邊ノ内部覆金(整流板)トノ間隔ハ二五耗以上トシ該覆金ハ不銹鋼若ハ耐熱金屬鋁ヲ使用スルモノトス

第五章、第一節ノ末尾ニ左ノ二項ヲ追加ス

海軍公報 (部内限) 第三千六十一號

昭和十三年十一月十四日

一三三九

1146

五、一、四五發動機後方機體構造部トノ中間ニ防火隔壁ヲ設クベシ、防火隔壁ハ不銹鋼若ハ耐熱金屬製ヲ使用シ且防熱ニ對シ考慮ヲ要ス、亦其ノ取付周邊、管ノ貫通部等ニ間隙ヲ存セシムベカラズ
五、一、四六發動機房内發火シ易キ部分ニハ要スレバ火災檢知器ヲ裝備シ操縦席若ハ機關員席ニ信號セシムルモノトス

（参照）昭和十一年航本機密第二〇九七號別冊ハ飛行機計畫要領書ノ件ナリ

○雜款

○郵便物發送先
特務艦隱戸宛

十二月五日迄ニ到達見込ノモノハ 徳山
其ノ後ハ 佐世保郵便局氣付

○艦船所在 ▲印ハ「ハホ」ヲ指定ヲ要セズ

○十一月十四日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城、春日▲長門、口陸奥、口鳥海、摩耶、木曾

▽曉▲漣▲狹霧、▽響▲雷▲電▲羽風▲

▽伊一▲伊二▲伊三、伊四、▽伊六▲伊七▲

掃二

富士▲、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍崎)▲

【長浦】▽旗風、▽秋風、山雲、▽夏雲、朝雲、峯雲、

沖風、神風

▽呂五四、▽呂五五、▽呂五六、伊五、

▽伊一三三、伊一二四

掃五

【江ノ浦】 呂五八

【石川島】 太刀風

(掃一○)▲

【横濱】

掃六▲

【浦賀】

北上▲

夕風▲

【館山】

赤城▲

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

澤風▲

【大湊】

波風、早苗

【國館】

若竹▲、吳竹▲

▽矢矧、韓崎、比叡▲淀、淺間、扶桑▲古鷹▲

▽加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、▽大鯨、

▽熊野、鈴谷、三隈

▽夕顔、▽口菊、葵、萩、▽磯波▲綾波、浦波▲

▽初雪、白雲、吹雪、朝風、▽矢風

▽呂五一、▽呂五三、▽呂二六▲、▽呂二七▲

▽呂二八▲、伊五一▲、▽伊五三▲、伊五五、

▽呂三四、▽呂三三、▽伊五七、伊五六、

▽伊五八、▽伊七二、伊七三、伊七一、

▽伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、

▽伊一二一、伊一二二、▽伊七〇、伊六八

攝津、間宮、襟裳

(千代田)、(伊一六)▲

【大阪】

(黒潮)▲

【神戸】

伊五四▲、▽呂五七▲、▽呂五九▲

【相生】

早鞠▲

【因ノ島】

(掃七)▲

【江田内】

松風▲、春風▲

【舞鶴】

平戸▲

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風

伊五二▲

【佐世保】

(蔽)▲(陽炎)▲(掃九)▲

榛名▲、那智▲、常磐▲、▽名取▲、青葉、
衣笠、▽霧島、金剛▲、▽阿武隈

梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、葦▲、▽夕風▲

朝風▲、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲

▽大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、▽野風、
文月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▽呂六六、

呂六五▲、呂六七、▽呂六八、呂六三、

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六四、

伊六一、伊六二、伊六九

雁▲

敷島▲、隠戸、野島、鳴戸、室戸

(明石)▲、(伊一八)▲

【長崎】

羽黒▲

佐多▲

(利根)▲、(筑摩)▲

【那覇】

沼風

【鎮海】

▽葦、梯

【作業地】

▽沖島、出雲、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、

八重山、白鷹、▽川内、▽足柄、▽球磨、

▽妙高、多摩、▽天龍、龍田、▽長良、▽加賀、

神威、能登呂、勝力、千歲、迅鯨、▽那珂、

由良、鬼怒、▽神通、▽若龍、龍驤、駒橋、
▽八雲、磐手

栗、梅、蓮、▽夕立、村雨、春雨、五月雨、

▽白露、有明、夕暮、時雨、▽江風、海風、

涼風、山風、▽水無月、長月、▽藤、薄、

葛、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、夕月、

望月、三月月、▽退風、疾風、▽蓼、蓬、

菱、▽島風、沙風、灘風、皐月、▽隴、

曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽白雲、薄雲、

叢雲、東雲、▽陸月、卯月、彌生、如月、

▽隼、鵲、鴨、鴻、▽千鳥、初雁、友鶴、

真鶴、▽鳩、鷺、雉

▽掃一、掃三、掃四、▽掃一六、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

▽朝日、膠州、鶴見

【航海中】

尻矢 (十月二十日横須賀發—羅府—)

石廊 (十月二十八日「ホルル」發—吳—)

知床 (十三日佐世保發—吳—)

海軍公報 (部内限) 第三千六十二號

海軍大臣官房

昭和十三年十一月十五日(火)

○令 達

官房機密第六一一七號 昭和十三年十一月十五日
 第一病院ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ハ吳鎮守府第四特別陸戰隊主計長ヲシテ之ヲ掌理セシム

海軍大臣

官房第五六八九號

内令機密前條第V

昭和十一年官房第五七三九號ハ之ヲ廢止ス

昭和十三年十一月十五日

海軍大臣

(参照) 昭和十一年官房第五七三九號ハ哈爾濱在勤武官ニ關スル件ナリ(内令提要卷一、四九三頁)

○辭 令

參千圓

海軍省囑託 勝 炯 清

(通各)

壹千五百圓	同	押川 始
壹千五百圓	同	北村 康房
壹千五百圓	同	山崎 米太郎
壹千五百圓	同	藤田 權之助
壹千圓	同	山崎 春次
壹千圓	同	日野 宗一

職務勉勵ニ付特ニ金(各頭書ノ通)ヲ贈與ス(海軍省)

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(詳同)

第四艦隊ニ於ケル事務囑託ノ報酬トシテ金五百圓ヲ贈與ス

第四艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金百圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク(以上詳同)

園田 三朗

(限 内)



海軍公報 (部内限) 第三千六十二號 昭和十三年十一月十五日

一三四三

第三艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額千八百圓ヲ給ス(二明同)

海軍豫備少尉 濱田 靜定

○ 雜 款

○郵便物發送先
第五驅逐隊分離行動中

自 今

司令、旗風宛

春風、松風宛

朝風宛

驅逐艦太刀風宛

十一月十八日迄ニ到達見込ノモノハ 石川 島
其ノ後ハ 長 浦

第三砲艦隊宛

自 今

追テ司令、隊機關長、軍醫長、主計長宛ハ京畿丸

特務艦襟裳宛

自 今

吳

○佐世保軍港前畑方面専用線貨車引込開始ノ件
首題ノ件ニ關シ火藥火工兵器及水雷兵器ヲ搭載セル貨

車ハ同方面ヘ引込ヲ要スルニ付車票取卸欄ニ必ズ「前
畑行ト附記」上發送セシメラレ度
追テ前畑方面行ト工廠方面行トハ正反對ノ方向ニシ
テ之ガ誤送ハ尠カラズ手違ヲ來スニ付特ニ御留意ヲ
得度

(佐世保鎮守府)

○艦船所在 ▲印ハ「ハカ」ヲ
指定ヲ要セズ

○十一月十五日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲、五十鈴▲、山城、春日▲、
長門、口陸奥、口鳥海、摩耶、木曾、駒橋
▽伊一▲、伊二▲、伊三、伊四、伊六▲、伊七▲
掃二

富士▲、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍崎)▲

【長浦】 旗風、口秋風、山雲、口夏雲、朝雲、峯雲、
沖風、神風
呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊五、
伊一二三、伊一二四
掃五

【石川島】

太刀風
(掃一○)▲

【横濱】

掃六▲

【浦賀】

北上▲

【大湊】

波風、早苗

【館山】

赤城

【澤風】

夕風

【霞】

(不知火)▲(掃八)▲

【函館】

大泊
若竹▲、吳竹▲
矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲、
加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、▽大鯨、
▽熊野、鈴谷、三隈
▽夕顔、口菊、葵、萩、口浦波▲、磯波▲、綾波、
▽初雪、白雪、吹雪、朝風、▽矢風
呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲
呂二八▲、伊五一▲、伊五三▲、伊五五、
呂三四、呂三三、伊五七、伊五六、
伊五八、伊七二、伊七三、伊七一、
伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、
伊一二一、伊一二二、伊七〇、伊六八
攝津、間宮、襟裳、知床
(伊一六)▲

【大 阪】

(黒潮)▲

【神 戸】

伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲
(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相 生】

早鞆▲

【玉 島】

(掃七)▲

【因ノ島】

松風▲、春風▲

【江田内】

平戸▲

【別 府】

(千代田)

【舞 鶴】

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風
伊五二▲

海軍公報(部内限)第三千六十二號

昭和十三年十一月十五日

一三四五

【佐世保】

(掖)▲(陽炎)▲(掃九)▲

榛名▲、那智▲、常磐▲、▷名取▲、青葉、
衣笠、▷霧島、金剛▲、▷阿武隈

梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、楡▲、葦▲、▷夕風▲、

朝風▲、▷若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、

▷大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、文月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六四▲、呂六六▲、

呂六五▲、呂六七▲、▷呂六八▲、呂六三、

▷伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊六四、

伊六一、伊六二、伊六九

雁▲

救島▲、野島

(明石)▲(伊一八)▲

羽黒▲

佐多▲

(利根)▲(筑摩)▲

【鎮海】

【作業地】

▷出雲、▷安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、

比良、保津、熱海、二見、殿島、八重山、

白鷹、▷川内、▷足柄、沖島、▷球磨、

▷妙高、多摩、▷天龍、龍田、▷長良、▷加賀、

神威、能登呂、勝力、千歲、迅鯨、▷那珂、

由良、鬼怒、▷神通、▷蒼龍、龍驤、

▷八雲、磐手

【航海中】

尻矢

石廊

沼風

室戸

(十月二十日横須賀發—羅府—)

(十月二十八日「ホルル」發—吳—)

(十三日佐世保發—吳—)

(十四日那霸發—石垣島—)

(十四日佐世保發—横須賀—)

栗、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、

▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、

涼風、山風、▷水無月、長月、▷藤、薄、

葛、▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、夕月、

望月、三月月、▷追風、疾風、▷蓼、蓬、

菱、▷島風、沙風、灘風、阜月、▷朧、

曙、潮、▷天霧、朝霧、夕霧、▷白雲、薄雲、

叢雲、東雲、▷如月、睦月、卯月、彌生、

▷野風

▷隼、鵠、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、

真鶴、▷鳩、鷺、雉

▷掃四、掃一、掃三、▷掃一六、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

▷朝日、膠州、鶴見、隠戸、鳴戸

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千六十三號

昭和十三年十一月十六日(水)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第六一八號

第三根據地隊司令部附タル特務士官以下ハ横須賀鎮守府ヨリ之ヲ補充スベシ

昭和三十二年官房機密第二五五〇號ハ之ヲ廢止ス

昭和三十二年十一月十五日

海軍大臣

(昭和三十二年五月十三日公報(部内限)参照)

官房機密第六一三七號

昭和三十二年十一月十六日

海軍大臣

各鎮守府司令長官
舞鶴要港部司令官

兵器保管轉換ノ件訓令

各海軍軍需部長、舞鶴要港部軍需部長ヲシテ在庫竝ニ
供用(貸與ヲ含ム)中ノ砲術長主管一米半以下ノ各種

○ 辭 令

測距儀ヲ航海長主管ニ保管轉換セシムベシ
但シ潜水艦用一米半水防測距儀ヲ除ク

(各通)

通信書記 塚本 英一

通信書記補 鈴木 共治

同 戸伏 長夫

第二海軍軍用郵便所員ヲ命ス

集配手 笠原 鶴吉

同 伊奈 一郎

同 川島 久八

同 島崎 一

同 津田 國雄

(各通)

第二海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ備人トス(以上皆海軍省)

海軍少將 金澤 正夫

海軍軍事普及部委員長ヲ命ス

海軍公報(部内限) 第三千六十三號 昭和十三年十一月十六日

一三四七

海軍軍事普及部委員ヲ命ス
海軍中佐 多田野佐七郎

軍艦長門在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ
海軍大佐 角田 覺治

軍艦陸奥在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ
同 五藤 存知

軍艦金剛在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ
同 鈴木 義尾

軍艦伊勢在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ
同 山口 儀三朗

軍艦日向在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ
同 西村 祥治

軍艦霧島在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ
同 多田 武雄

海軍高等技術會議議員ヲ命ス
海軍技術會議議員海軍中將 高須 四郎

海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス
同 花島 孝一

海軍技術會議議員海軍少將候補
小松 輝久

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス
海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス

海軍技術會議議員海軍少將 小澤 治三郎
(各通)同 中島 寅彦

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス
海軍艦政本部造船監督官兼造兵監督官海軍大佐 飯屋 實

(各通)同 海軍技術會議議員海軍機關大佐 多田 力三

海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス
同 杉本 修

(各通)同 海軍技術會議議員海軍機關中佐 渡邊 瑞彦

同 久保田 芳雄

同 浦野 角造

同 松尾 祐一

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス
海軍艦政本部造船監督官兼造兵監督官海軍少將 岡崎 忠道

東京監理長ヲ命ス
同 石井 常次郎

大阪監理長ヲ命ス
同 奥 信一

廣島監理長ヲ命ス
海軍艦政本部造船監督官兼造兵監督官海軍大佐 近藤 憲治

<p>神戸監理官ヲ命ス 海軍艦政本部造兵監督官海軍大佐 井上 左馬太</p> <p>大阪監理官ヲ命ス 海軍艦政本部造船監督官兼造兵監督官海軍機關大佐 内田 五郎</p> <p>東京監理官ヲ命ス 海軍艦政本部田仕兼造船造兵監督會計官海軍航空本部造兵監督會計官海軍主計中佐 川村 久三郎</p> <p>八幡監理官ヲ命ス 海軍艦政本部造船監督官海軍造機中佐伯爵 廣澤 眞吾</p> <p>神戸監理官ヲ命ス 海軍工廠製鋼部検査官兼海軍艦政本部造兵監督官海軍造兵中佐 中野 巖六</p> <p>廣島監理官ヲ命ス(以上十一月十五日海軍省) 海軍大佐男爵 富岡 定俊</p> <p>第一課勤務ヲ命ス 海軍中佐 細谷 資彦 (各通) 同 山代 勝守</p> <p>第二課勤務ヲ命ス 海軍少佐 小手川 邦彦</p> <p>第二課勤務兼第一課勤務ヲ命ス</p>	<p>第一課勤務ヲ命ス 同 豊田 隈雄</p> <p>(各通) 同 淺田 昌彦 海軍大尉 矢島 源太郎</p> <p>第二課勤務ヲ命ス 海軍機關少佐 奥 末 廣</p> <p>第一課勤務ヲ命ス(以上十一月十五日海軍省人事局) 舞鶴要港部員海軍主計少佐 廣 良三 艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス 海軍主計少佐 今里 格 艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス(以上出納支出官海軍省經理局長)</p> <p>第一課勤務ヲ命ス(軍令部) 軍令部出仕海軍少佐 角田 隆雄</p> <p>第三課勤務ヲ命ス 軍令部出仕海軍大佐 前田 稔</p> <p>第四部第十一課勤務ヲ命ス(以上同) 軍令部出仕海軍少將 木岡 蟻志松</p> <p>第四部勤務ヲ免ス(以上同)</p>
--	---

海軍公報(部内限) 第三千六十三號

昭和十三年十一月十六日

一三四九

○ 雜 款

○進水
伊號第十八潜水艦十一月十二日佐世保海軍工廠ニ於テ進水セリ

○旗艦變更
第二根據地隊司令官ハ十一月十四日旗艦ヲ迅鯨ヨリ嗟峨ニ變更セリ

○司令驅逐艦變更
第十九驅逐隊司令ハ十一月十四日司令驅逐艦ヲ磯波ヨリ浦波ニ變更セリ
第三十驅逐隊司令ハ十一月十四日司令驅逐艦ヲ陸月ヨリ如月ニ變更セリ

○司令艇變更
第一掃海隊司令ハ十一月十四日司令艇ヲ第一號掃海艇ヨリ第四號掃海艇ニ變更セリ

○司令驅逐艦一時變更
第十五驅逐隊司令ハ十一月十二日司令驅逐艦ヲ一時藤ニ變更セリ

○郵便物發送先
第三根據地隊、厦門特務部宛

自今

基隆郵便局氣付

瑞穂艦裝員事務所宛

十一月十七日迄ニ到達見込ノモノハ

神戸 海軍監督官事務所内

同 二十六日迄ニ

兵庫縣赤穂郡相生町

其ノ後ハ

神戸 海軍監督官事務所内

第十四驅逐隊、朝風宛

自今

驅逐艦松風宛

因島

○退應

前任 海軍省軍需局 海軍少將 中村 俊久 本月十六日退應

○職務代理
海軍省軍需局第一課長缺員中海軍中佐佐藤壽同職務ヲ代理ス(付初)

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「」ノ
指定ヲ要セズ

○十一月十六日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲、五十鈴▲、山城、春日▲、長門、口陸奥、口島海、摩耶、木曾、駒橋、赤城

口曉▲、漣▲、狹霧、口響▲、雷▲、電▲、羽風▲
口伊一▲、伊二▲、伊三、伊四、口伊六▲、伊七▲
掃二

富士▲、洲埼

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】口旗風、口秋風、山雲、口夏雲、朝雲、峯雲、沖風、神風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊五、
口伊一二三、伊一二四
掃五

【石川島】

太刀風

(掃一○)▲

【横濱】

掃六▲

【浦賀】

北上▲

夕風▲

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

波風、早苗

【國館】

大泊

若竹▲、吳竹▲

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲、加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、口大鯨、
口熊野、鈴谷、三隈

口初雪、白雪、吹雪、朝風、口浦波▲、磯波▲、綾波、夕顔、口菊、葵、萩、口浦波▲、磯波▲、綾波、

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、伊五一▲、口伊五三▲、伊五五、

呂三四、呂三三、口伊五七、伊五六、呂三八、口伊七二、伊七三、伊七一、

口伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、口伊一一一、伊一二二、口伊七〇、伊六八

攝津、間宮、襟裳、知床
(伊一六)▲

【大阪】

(黒潮)▲

【神戸】

伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲
(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】

早鞆▲

【玉】

(掃七)▲

【因ノ島】

松風▲、春風▲

【江田内】

平戸▲

【別府】

(千代田)

【舞鶴】

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風、伊五二▲

海軍公報(部内限) 第三千六十三號

昭和十三年十一月十六日

一三五

【佐世保】

(霞)▲、(陽炎)▲、(掃九)▲
 椽名▲、那智▲、常磐▲、▷名取▲、青葉、
 衣笠、▷霧島、金剛▲、▷阿武隈
 梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、蕁▲、▷夕風▲
 朝風▲、▷若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲
 ▷大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、文月
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲
 呂六一▲、呂六二▲、呂六四▲、呂六六▲
 呂六五▲、呂六七▲、▷呂六八▲、呂六三、
 ▷伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊六四、
 伊六一、伊六二、伊六九

【長崎】

敷島▲、野島
 (明石)▲、(伊一八)▲
 羽黒▲
 佐多▲
 (利根)▲、(筑摩)▲

【鎮海】

【羅府】

【作業地】▷出雲、▷安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、墜田、
 比良、保津、熱海、二見、嚴島、八重山、
 白鷹、▷川内、▷足柄、沖島、▷球磨、
 ▷妙高、多摩、▷天龍、龍田、▷長良、▷加賀、
 神威、能登呂、勝力、千歲、迅鯨、▷那珂、
 由良、鬼怒、▷神通、▷蒼龍、龍驤、

【航海中】

▷八雲、磐手
 栗、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、
 ▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、
 涼風、山風、▷水無月、長月、▷藤、薄、
 蕩、▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、夕月、
 望月、三日月、▷追風、疾風、▷蓼、蓬、
 菱、▷島風、沙風、灘風、皐月、▷隴、
 曙、潮、▷天霧、朝霧、夕霧、▷白雲、薄雲、
 叢雲、東雲、▷如月、睦月、卯月、彌生、
 ▷野風
 ▷隼、鶴、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、
 眞鶴、▷鳩、鸞、雉
 ▷掃四、掃一、掃三、▷掃一六、掃一三、
 掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
 ▷朝日、膠州、鶴見、隠戸、鳴戸

石廊 (十月二十八日「ホノルル」發一吳へ)
 沼風 (十四日那霸發一石垣島へ)
 室戸 (十四日佐世保發一横須賀へ)

海軍公報 (部内限) 第三千六十四號

昭和十三年十一月十七日(木)

海軍大臣官房

○令達

官房第一五一八號ノ六
 雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス
 昭和十三年十一月十七日

海軍大臣

船種	公稱番號	舊所屬	新所屬	別定數	記事
特型運貨船 (十四米)	第三五九號	佐世保防備隊	吳防備隊	臨時附屬	
同(同)	第三六〇號	同	同	同	
同(同)	第三六一號	同	同	同	
同(同)	第三六二號	同	同	同	
官房第一五一八號ノ七					
雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス					
昭和十三年十一月十七日					

船種	公稱番號	舊所屬	新所屬	別定數	記事
交通船兼曳船 (二十噸)	第四六六號	舞鶴防備隊	海軍火藥廠 燻藥部	臨時附屬	

○辭令

第一課勤務ヲ命ス
 海軍主計大佐 宮本 正光
 (各通) 海軍主計大佐 堤 恭二
 海軍主計中佐 古賀 正雄

第二課勤務ヲ命ス(以上 陸海軍省經理局)

○雜款

○旗艦變更
 練習艦隊司令官ハ十一月十五日旗艦ヲ八雲ヨリ磐手ニ變更セリ

○司令艇指定
 第四砲艦隊司令ハ十月二十三日司令艇ヲ那沙美ニ指定

海軍公報(部内限) 第三千六十四號

昭和十三年十一月十七日

一三五三

1160

セリ

○司令艇變更

第一掃海隊司令ハ十一月十四日司令艇ヲ第一號掃海艇ヨリ第四號掃海艇ニ變更セリ

○郵便物送發先

第二航空戰隊、各艦宛

自今

各所屬軍港

第一砲艦隊及長白山丸、長壽山丸宛

自今

岡山縣玉造船所内

第一砲艦隊殘務整理事務所

驅逐艦若竹宛

十一月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ

同 二十五日迄ニ

其ノ後ハ

函 館
横 須 賀
吳

○書類送付先

十一月十五日以後磯波、敷波ハ單艦トナリタルニ付書類ハ各艦宛送付相成度

(第十九驅逐隊)

○正誤



昨十六日辭令欄一三四九頁主計少佐「末廣良三」ハ「末廣良三」ノ、少將中杉久治郎辭令文中「第四部勤

部ハ「第四部勤務」ノ孰モ誤

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月十七日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲、五十鈴▲、山城、春日▲、長門、口陸奥、口島海、摩耶▲、木曾、駒橋、赤城

伊二▲、伊三、伊四、伊六▲、伊七▲

富士▲、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】旗風、口秋風、山雲、口朝雲、夏雲、峯雲、

沖風、羽風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、伊五、伊一二三、伊一二四

【石川島】

太刀風▲

(掃一○)▲

【横濱】

掃六▲

北上▲

【浦賀】

夕風▲

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

澤風▲

波風、早苗

【大湊】

大泊

【函館】

若竹▲、吳竹▲、矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲、加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、夕顔、口熊野、鈴谷、三隈、口神通、口初雪、白雪、吹雪、朝風、口矢風、口白雲、薄雲、叢雲、東雲

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、伊五一▲、伊五三▲、伊五五、呂三四、呂三三、伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三、伊七一、伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、伊一二一、伊一二二、伊七〇、伊六八

攝津、間宮、襟裳、知床

(千代田)(伊一六)▲

【大阪】

(黒潮)▲

伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【神戸】

早鞆▲

(掃七)▲

【相生】

松風▲、春風▲

【因ノ島】

平戸▲

【江田内】

石廊

【廣島】

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風

【舞鶴】

伊五二▲

海軍公報(部内限)第三千六十四號

昭和十三年十一月十七日

一三五五

【佐世保】

(霞)▲(陽炎)▲(掃九)▲
榛名▲、那智▲、常磐▲、▷名取▲、青葉、
衣笠、▷霧島、金剛▲、由良、▷阿武隈
梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▷夕風▲、
朝風▲、▷若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、
▷大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、孝風▲、文月▲
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六四▲、呂六六▲、
呂六五▲、呂六七▲、▷呂六八▲、呂六三▲、
伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊六四、
伊六一、伊六二、伊六九

【長崎】

敷島▲、野島
雁▲
(明石)▲(伊一八)▲
羽黒▲
佐多▲
(利根)▲(筑摩)▲

【石垣島】

【鎮海】

【羅府】

【作業地】

沼風
▽葦、柿、楡
▽出雲、▷安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、
保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、
▷川内、▷足柄、沖島、▷球磨、▷妙高、多摩、
▷天龍、龍田、▷長良、▷加賀、神威、能登呂、
勝力、千歳、迅鯨、▷嵯峨、▷那珂、▷蒼龍、

【航海中】

室戸 (十四日佐世保發—横須賀—)
彌生 (十六日佐世保發—日向灘—)
神風 (十七日長浦發—下田—)

龍驤、▷磐手、八雲
栗、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、
▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、
涼風、山風、▷水無月、長月、▷薄、藤、
葛、▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、夕月、
望月、三日月、▷追風、疾風、▷蓼、蓬、
菱、▷島風、沙風、灘風、阜月、▷臘、
曙、潮、▷天霧、朝霧、夕霧、▷如月、睦月、
卯月、▷野風
▷隼、鵠、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、▷鳩、鷺、雉
▷掃四、掃一、掃三、▷掃一六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
▷朝日、膠州、鶴見、隱戸、鳴戸

海軍公報

(部内限) 第三千六十五號

海軍大臣官房

昭和十三年十一月十八日(金)

○令達



官房第三八〇〇號ノ二ニテ本號版止ニ據ル
 當分ノ間海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ拘ラズ滿洲
 國在勤帝國大使館附海軍職員(駐在員、出張員、雇員
 傭人等ヲ含ム)ニ要スル經費ハ新京出張員タル軍令部
 出仕主計科士官ヲ資金前渡官吏トス
 本年官房第三八〇〇號ハ之ヲ廢止ス

昭和十三年十一月十五日

海軍大臣

(參照) 本年官房第三八〇〇號ハ駐滿海軍部及臨時海軍防備隊
 ノ經費及收入ニ關スル件ナリ

官房第三八〇〇號ノ三

概要

駐滿海軍部及臨時海軍防備隊廢止ニ伴ヒ之ガ殘務整理
 中要スル經費竝ニ殘務整理中生ズル收入ハ引續キ吳海
 軍經理部長ヲ支出官及歳入徴收官トシ殘務整理ニ從事
 スル主計科士官ヲ資金前渡官吏竝ニ收入官吏トス

昭和十三年十一月十五日

海軍大臣

○辭令

海軍主計兵曹長 飯田幾太郎
 特設砲艦首里丸ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊
 經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(其前支出官海軍省經理
 局長)

軍令部出仕海軍少將 宇垣 纏

第一部勤務ヲ命ス

軍令部課長海軍大佐 志波 國彬

第三部第六課長ヲ命ス

軍令部出仕海軍中佐 川井 巖

第一部第一課勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍機關大佐 寺山 榮

臨時戰史部勤務ヲ命ス

軍令部部員海軍機關中佐 松尾 祐一

海軍公報(部内限) 第三千六十五號 昭和十三年十一月十八日

一三五七

第二部第四課兼同第三課第一部第二課勤務ヲ命ス(以上註海軍司令部)

參謀部第六課長ヲ命ス 海軍大佐 志波 國彬

通信部第十課勤務ヲ命ス 海軍大尉 半田 仁貴知

參謀部第二部第四課勤務ヲ命ス(以上註大本營海軍部) 海軍機關中佐 松尾 祐一

第八號驅潛艇審議委員ヲ命ス 海軍大尉 蓼沼 三郎(八驅潛)

第八號驅潛艇審議委員ヲ免ス(以上註海軍艦政本部) 海軍少佐 北野 亘

廣島地方ノ監督任務ニ從事スヘシ 海軍大佐 近藤 憲治

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ 海軍機關大佐 酒見 匡

在八幡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在福岡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上註海軍航空本

部)

○ 雜 款

○ 旗艦復歸
第五水雷戰隊司令官ハ十一月三日旗艦ヲ刈萱ヨリ長良ニ復歸セリ

○ 司令驅逐艦變更
第十五驅逐隊司令ハ十一月十六日司令驅逐艦ヲ藤ヨリ薄ニ復歸セリ

○ 郵便物發送先變更
驅逐艦太刀風宛
當分ノ間 石川 島

南支特務部宛
當分ノ間 臺北在勤武官氣付

○ 取消
一昨十六日本欄郵便物發送先中第四十五驅逐隊、朝風宛ハ取消ス

○ 正誤
昨十七日本欄「第四砲艦隊」ハ「第四砲艇隊」ノ誤

○艦船所在 指定ヲ要セス

○十一月十八日午前十時調

【横須賀】 對馬、夕張、鳳翔▲、五十鈴▲、山城、春日▲、

長門、口陸奥、口那珂、口鳥海、摩耶▲、木曾、駒橋、赤城

口曉、漣、狹霧、口響▲、雷▲、電▲、口天霧、朝霧、夕霧

伊二▲、伊三、伊四、口伊六▲、伊七▲

掃二 富士▲、洲崎、室戸

(飛龍)▲(高崎)▲(劍崎)▲

【長浦】 口旗風、口秋風、山雲、口朝雲、夏雲、峯雲、

沖風、羽風 呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、口伊一、

伊五、口伊一二三、伊一二四 掃五

【石川島】 太刀風▲

(掃一○)▲

【横濱】 掃六▲

【浦賀】 北上▲ 夕風▲

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】 澤風▲

神風

【下田】

【大湊】 波風、早苗 大泊

【函館】 若竹▲、吳竹▲

【吳】 矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲、

加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、

口大鯨、口熊野、鈴谷、三隈、口神通、

夕顔、口菊、葵、萩、口浦波▲、磯波▲、綾波、

口初雪、白雪、吹雪、朝風、口矢風、口白雲、

薄雲、叢雲、東雲 呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一▲、口伊五三▲、伊五五、

呂三四、呂三三、口伊五七、伊五六、

伊五八、口伊七二、伊七三、伊七一、

口伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、

口伊一二一、伊一二二、口伊七〇、伊六八

攝津、間宮、襟裳、知床、石廊 (千代田)(伊一六)▲

【大阪】 (黒潮)▲

【神戸】 伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】 早鞆▲

【玉】 (掃七)▲

【因ノ島】 松風▲、春風▲

【江田内】 平戸▲

【舞鶴】 吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風

海軍公報(部内限)第三千六十五號 昭和十三年十一月十八日 一三五九

伊五二

(叢) (陽炎) (掃九) ▲

榛名▲、那智▲、常磐▲、▷名取▲、青葉、
衣笠、▷霧島、金剛▲、由良、▷阿武隈、
梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、楡▲、葦▲、▷夕風▲、
朝風▲、▷若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、
▷大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、▷如月、
睦月、卯月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▷呂六六、

呂六五▲、呂六七、▷呂六八、呂六三、

▷伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊六四、

伊六一、伊六二、伊六九

雁▲

敷島▲

【長崎】

(明石) (伊一八) ▲

羽黒▲

佐多▲

(利根) (筑摩) ▲

【鎮海】

葦、枹、楡

【羅府】

尻矢

【作業地】

▷出雲、▷安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、
保津、熱海、二見、巖島、八重山、白鷹、
▷川内、▷足柄、沖島、▷球磨、▷妙高、多摩、
▷天龍、龍田、▷長良、▷加賀、神威、能登呂、

【航海中】

彌生 (十六日佐世保發一日向灘) (沼風 (十七日石垣島發一佐世保))

▷朝日、膠州、鶴見、隠戸、鳴戸、野島

曙、潮、▷野風、文月

▷隼、鶴、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、
真鶴、▷鳩、鰲、雉

▷掃四、掃一、掃三、▷掃二六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

▷朝日、膠州、鶴見、隠戸、鳴戸、野島

▷磐手、八雲

▷粟、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、
▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、
涼風、山風、▷水無月、長月、▷薄、藤、
葛、▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、夕月、
望月、三月月、▷追風、疾風、▷蓼、蓬、
菱、▷島風、沙風、灘風、皐月、▷隴、

▷勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷蒼龍、龍驤、

▷勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷蒼龍、龍驤、

▷勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷蒼龍、龍驤、

▷勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷蒼龍、龍驤、

▷勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷蒼龍、龍驤、

▷勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷蒼龍、龍驤、

▷勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷蒼龍、龍驤、

▷勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷蒼龍、龍驤、

▷勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷蒼龍、龍驤、

▷勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷蒼龍、龍驤、

▷勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷蒼龍、龍驤、

海軍公報 (部内限) 第三千六十六號

昭和十三年十一月十九日(主)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一八一七號ノ一四 提 要

昭和十二年官房第四三六八號第一類中「駐滿海軍部」

及「臨時海軍防備隊」ヲ削ル

昭和十三年十一月十五日

海軍大臣

(昭和十二年官房第四三六八號ハ戰時増修支給ニ關スル件ナリ)

官房第五七六七號

昭和十三年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十三年十一月十八日

海軍大臣

歳出臨時部

款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
(災害費)					

横須賀鎮守府管内 建造物風水害復舊 及新替費	建造物復舊 及新替費	エフ	エロ
------------------------------	---------------	----	----

官房第五七六七號

海軍工員規則第九十八條ノ規定ニ依リ本年十二月一日

現在ノ工員(見習工員ヲ除ク)ニ對シ定期賞與ヲ支給

スヘシ給額標準ヲ左ノ通定ム

海軍燃料廠探炭部及鑛業部ノ鑛員ニ對シテハ本令ヲ準

用スルコトヲ得

昭和十三年十一月十九日

海軍大臣

勤績一年以上ノ者	賃	海軍大臣	二十五日分
同 十ヶ月 同	同	同	二十日分
同 八ヶ月 同	同	同	十五日分
同 六ヶ月 同	同	同	十日分
同 三ヶ月 同	同	同	五日分
同 一ヶ月 同	同	同	三日分

海軍公報 (部内限) 第三千六十六號 昭和十三年十一月十九日

一三六一

○通牒

官房第五六七四號ノ三

昭和十三年十一月十九日

海軍省 副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫眞撮影

ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ當分ノ間左記ニ依ルコトト御了知
相成度

記

一、報國號飛行機要目發表範圍

報國第二六三號(香川號)

機種 水上偵察機

座席 二

全幅 一一・〇米

全長 八・五米

全高 四・〇米

二、寫眞撮影 特ニ許可セラレタルモノノ外禁止

○辭令

第三課勤務ヲ命ス

海軍主計大佐 岩崎 光

(各通)

海軍機關少佐 峰岸 喜之

海軍主計特務少尉 小野關 憲吉

第一課勤務ヲ命ス(以上其前海軍省軍需局)

海軍主計兵曹長 道場 秀太郎

軍艦筑摩艦裝員ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡

官吏ヲ命ス

海軍主計少佐 若月 榮松

臨時資金前渡官吏ヲ免ス(以上其前支出官海軍省經理局長)

海軍兵曹長 川又 七平

海軍省法務局ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額六拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇

セラル(其前海軍省法務局)

海軍技師 福間 武美(艦本監)

第八號驅潛艇審議委員ヲ命ス

海軍技師 大倉 彌一郎

第八號驅潛艇審議委員ヲ免ス(以上其前海軍艦政本部)

○ 雜 款

○司令驅逐艦一時變更
第二十六驅逐隊司令ハ十一月十八日司令驅逐艦ヲ一時
革ヨリ楡ニ變更セリ

第四十一驅逐隊司令ハ十一月十五日司令驅逐艦ヲ一時
夏雲ヨリ朝雲ニ變更、同日復歸セリ。

○郵便物發送先
特務艦鶴見宛
自今 佐世保

○着任、退應
新任 海軍省教育局 海軍大佐 矢野志加三 十二月五日着任
前任 同 山口儀三朗 同 六日退應
前任 海軍省教育局 海軍機關大佐 澤 達 同 十五日退應
前任 第三課長

海軍公報 (部内限) 第三千六百六十六號 昭和十三年十一月十九日

一三六三

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月十九日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、長門、陸奥、那珂、鳥海、摩耶

蒼龍、木曾、赤城

曉、漣、狹霧、響、雷、電、天霧、朝霧、夕霧

伊二、伊三、伊四、伊六、伊七

掃二、掃六

富士、洲崎、室戸

(飛龍)(高崎)(劍崎)

【長浦】

旗風、秋風、山雲、朝雲、夏雲、峯雲、沖風、羽風、神風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、伊五、伊一二三、伊一二四

掃五

【石川島】

太刀風

(掃一〇)

【浦賀】

北上

夕風

【館山】

澤風

【大湊】

波風、早苗、大泊

【函館】

若竹、吳竹、矢矧、韓崎、比叡、淀、淺間、扶桑、古鷹、加古、大井、最上、日向、伊勢、鬼怒、大鯨、熊野、鈴谷、三隈、神通、龍驤、夕顔、菊、葵、萩、浦波、磯波、綾波、初雪、白雪、吹雪、朝風、矢風、白雲、薄雲、叢雲、東雲

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五一、伊五三、伊五五、呂三四、呂三三、伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三、伊七一、伊六六、伊六五、伊六七、伊七四、伊一一一、伊一二三、伊七〇、伊六八

攝津、間宮、襟裳、知床、石廊

(千代田)(伊一六)

(黑潮)

伊五四、呂五七、呂五九

(伊八)(伊七五)

早鞆

(瑞穂)

(掃七)

松風、春風

平戸

吾妻、高雄、長鯨、愛宕、敷波、帆風

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

【佐世保】

(叢)▲(陽炎)▲(掃九)▲

榛名▲、那智▲、常磐▲、▷名取▲、青葉、
衣笠、▷霧島▲、金剛▲、由良、▷阿武隈
梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、重▲、▷夕風▲
朝風▲、▷若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、
▷大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、▷如月、
卯月、彌生、夕月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▷呂六六、
呂六五▲、呂六七、▷呂六八、呂六三、
▷伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊六四、
伊六一、伊六二、伊六九

雁▲

敷島▲

【長崎】

(明石)▲(伊一八)▲

羽黒▲

佐多▲

(利根)▲(筑摩)▲

【鎮海】

【釜山】

【羅府】

【作業地】

▷出雲、▷安宅、鳥羽、勢多、壱田、比良、
保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、
▷川内、▷足柄、沖島、▷球磨、▷妙高、多摩、
▷天龍、龍田、▷長良、▷加賀、神威、能登呂、

勝力、千歳、迅鯨、▷蝶峨、▷磐手、八雲、
駒橋

栗、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、

▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、

涼風、山風、▷水無月、長月、▷薄、藤、

葛、▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、睦月、

望月、三日月、▷追風、疾風、▷蓼、蓬、

菱、▷島風、汐風、灘風、阜月、▷朧、

曙、潮、▷野風、文月

▷隼、鵠、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、

真鶴、▷鳩、鷺、雉

▷掃四、掃一、掃三、▷掃一六、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

▷朝日、膠州、鶴見、隠戸、鳴戸、野島

【航海中】

沼風 (十七日石垣島發—佐世保へ)

海軍公報 (部内限) 第三千六十七號

海軍大臣官房

昭和十三年十一月二十一日(月)

○令達

官房第五三〇四號ノ二
官房第五三〇四號ニ依ル第五海軍軍用郵便所ハ十一月
十七日ヨリ事務ヲ開始ス
昭和十三年十一月十七日
海軍大臣

(昭和十三年十月二十二日海軍公報(部内限)参照)

○通牒

軍需機密燃第二五二號
昭和十三年十一月十八日
昭十六年(昭和十三年)第一五〇號
ニテ本號廢止
各艦隊參謀長
各鎮守府參謀長
各要港部參謀長
航空礦油使用區分ニ關スル件通牒
海軍省軍需局長
海軍航空本部長

○辭令

漢口海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託ス
但シ報酬年額四千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇
トス(註同海軍省)
漢口海軍特務部ニ於ケル事務囑託
高島好太郎
自今部内限奏任官待遇トス(註同)

當分ノ間昭和十二年軍需機密燃第一一號航空礦油供
給ノ件通牒使用期別ニ拘ラズ冬期及沍寒ノ候ニ於テモ
夏期用ノモノヲ加熱使用相成度
追テ潤滑油加熱設備無キ沍寒地等ニ於テ止ムヲ得ズ
夏期用以外ノモノヲ使用スル場合ハ成ルベク油溫節
溫ノ最高溫度附近ニテハ使用セザル等各部ノ燒損ニ
對シ特ニ留意相成度

(限 内 部)

廢止

海軍公報(部内限) 第三千六十七號

昭和十三年十一月二十一日

一三六七

1173

○雜款

○司令驅逐艦指定
第四十五驅逐隊司令十一月十五日司令驅逐艦ヲ朝風ニ指定セリ

○軍艦駒橋行動豫定
地名 着 發
横須賀 十二月五日 十一月十九日
大阪 十二月九日
横須賀 二十日

○郵便物發送先
第二水雷戰隊司令部、軍艦神通、第十二驅逐隊宛
自今 吳

第八驅逐隊宛
自今 横須賀

第四十五驅逐隊、朝風宛

自今 吳
驅逐艦松風宛 因島

軍艦駒橋宛
十一月十八日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀

十二月八日迄ニ同
其ノ後ハ 大 横須賀 阪

○着任、退應

新任 海軍航空本部長海軍中將 豊田真次郎 十二月五日着任
前任同 同 山本五十六 同日退應

新任 海軍軍事普及部委員長 海軍少將 金澤 正夫 本月六日着任
前任同 海軍中將 野田 清 同日退應

新任 海軍航空本部 海軍機關大佐 松笠 潔 十二月五日着任
前任 技術部第二課長 同 多田 力三 同日退應

前任 同 同 多田 力三 同日退應

○艦船所在
指[▲]印[▲]ハ[▲]ホ[▲]ヲ[▲]要[▲]セ[▲]ズ

○十一月二十一日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城▲春日▲
長門▲、口陸奥、▷那珂、口鳥海、摩耶▲

▷蒼龍、木曾、赤城

口曉、漣、狹霧、口響▲、雷、電▲、口天霧、
朝霧、夕霧

口伊二▲、伊三、伊四▲、口伊六▲、伊七▲

掃二、掃六

富士▲、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】口旗風、口秋風、羽風、山雲、口夏雲、朝雲、
峯雲、沖風、神風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、
伊五、口伊一二三、伊一二四

掃五

【石川島】太刀風▲

(掃一○)▲

【浦賀】北上▲

夕風▲

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】澤風▲

波風、早苗

【大湊】大泊

【國館】

【吳】

若竹▲、吳竹▲

矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲、
加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、

▷大鯨、▷熊野、鈴谷、三隈、▷神通、龍驤、
夕顔、口菊、葵、萩、磯波▲、口初雪、白雪、
吹雪、口浦波▲、綾波、朝風、▷矢風、

口白雲、薄雲、叢雲、東雲

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一▲、口伊五三▲、伊五五、

口呂三四、呂三三、口伊五七、伊五六、

伊五八、口伊七二、伊七三、伊七一、

口伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、

口伊一二一、伊一二二、口伊七〇、伊六八

攝津、間宮、襟裳、石廊

(千代田)、(伊一六)▲

【大阪】(黒潮)▲

【神戸】伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】早鞆▲

(瑞穂)▲

【玉】(掃七)▲

【因ノ島】松風▲、春風▲

【江田内】平戸▲

【舞鶴】吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風

伊五二▲

【佐世保】

(蔽) (陽炎) (掃九) ▲

榛名▲、那智▲、常磐▲、▷名取▲、青葉、
衣笠、▷霧島▲、金剛▲、由良、▷阿武隈

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、夕月▲

▷若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、▷夕風▲、

朝風▲、▷大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、

▷如月、卯月、彌生、沼風

▷呂三〇▲、▷呂三一▲、▷呂三二▲、▷呂六〇▲、

▷呂六一▲、▷呂六二▲、▷呂六四▲、▷呂六六▲、

▷呂六五▲、▷呂六七▲、▷呂六八▲、▷呂六三▲、

▷伊六三、▷伊五九、▷伊六〇、▷伊六四、

▷伊六一、▷伊六二、▷伊六九

敷島▲、知床

(明石) (伊一八) ▲

羽黒▲、利根

佐多▲

(筑摩) ▲

【鎮海】▷葦、榆、柿

【羅府】尻矢

【作業地】▷出雲、▷安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、

▷川内、▷口足柄、沖島、▷球磨、▷口妙高、多摩、

▷天龍、龍田、▷長良、▷加賀、神威、能登、呂、

勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷磐手、八雲、

駒橋

【航海中】

雁 (二十日佐世保發―吳へ)

室戸 (二十日横須賀發―神戸へ)

栗、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、

▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、

涼風、山風、▷水無月、長月、▷薄、藤、

葛、▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、陸月、

望月、三月月、▷追風、疾風、▷蓼、蓬、

菱、▷島風、汐風、灘風、阜月、▷隴、

曙、潮、▷野風、文月

▷隼、鶴、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、女鶴、

真鶴、▷鳩、鷺、雉

▷掃四、掃一、掃三、▷掃二六、掃一三、

▷掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

▷朝日、膠州、鶴見、隠戸、鳴戸、野島

海軍公報

(部内限) 第三千六十八號

海軍大臣官房

昭和十三年十一月二十二日(火)

○令 達

官房第五八二一號

提 要

新設陸上部隊開隊前之ニ供給又ハ貸與ヲ要スル兵器ノ
保管受拂ニ關シ左ノ通定ム

昭和十三年十一月二十二日

海 軍 大 臣

一、新設陸上部隊開隊前之ニ要スル兵器ハ別ニ定ムル
モノヲ除クノ外海軍艦政本部長又ハ海軍航空本部長
ノ通牒ニ依リ所管豫定鎮守府所屬ノ海軍軍需部兵備
品會計官吏之ヲ設立準備委員タル兵備品取扱主任ニ
供給又ハ貸與スルモノトス

二、新設陸上部隊設立準備委員長ハ當該設立準備委員
中ヨリ兵備品取扱主任ヲ命ジ所管豫定鎮守府所屬ノ
海軍軍需部兵備品會計官吏ニ通報スルモノトス之ヲ
免ジタル場合亦同ジ

三、新設陸上部隊開隊シタルトキハ設立準備委員タル

兵備品取扱主任ハ其ノ保管ニ係ル兵器ヲ同隊職員タ
ル兵備品取扱主任ニ引繼グモノトス

○通 牒

官房機密第六二五四號

昭和十三年十一月十八日

海 軍 省 副 官

各 廳 長 殿

赴任旅行者ノ便船ニ關スル件照會

今次士官異動ニ依ル赴任旅行者中十二月一日ヨリ同末
日迄ノ間ニ内地、臺灣及中支方面間商船便(附錄參照)
ヲ利用スル向ニ對シ乗船券ノ發賣ニ關シ日本郵船、大
阪商船及近海郵船各會社トノ間ニ別紙ノ通契約致候ニ
付關係ノ向ニ周知方可能取計相成度

追テ乗船申込ハ成ルベク早目ニスルヲ要スルニ付内
報ヲ受ケタル者ハ正式發令前ニ右手續ヲ執ラシメラ
レ差支ナキ内意ニ候

海軍公報(部内限) 第三千六十八號

昭和十三年十一月二十二日

一三七一

1177

(別紙)

客船船室豫約ニ關スル大阪商船、日本郵船、近海郵船各會社ト海軍省間申合事項

一、大阪商船、日本郵船、近海郵船各會社ハ十二月中ニ赴任旅行スル海軍准士官以上ニ對シ乗船地發ノ四日以前ニ到達セル申込(電報、書類、口頭)ニ對シテハ申込順ニ一般申込者ヨリ優先的ニ船室ノ豫約ヲナス

右期日以後ニ申込アリタル向及家族ニ對シテハ右ノ取扱ヲナサズ

二、豫約申込先ハ左ノ通トス

(一) 内地ヨリ赴任スル者

(イ) 大阪商船所屬船ニ乗船申込ハ大阪市北區宗是町大阪商船會社船客課臺灣船客係

(ロ) 近海郵船所屬船ニ乗船申込ハ東京市丸ノ内近海郵船會社船客係

(ハ) 日本郵船所屬船ニ乗船申込ハ乗船地所在ノ同支店(神戸支店、神戸市神戸區海岸通一丁目、門司支店、門司市門司字棧橋通一番地一及長崎支店、長崎市常磐町四番地)

(二) 内地へ赴任スル者

(イ) 上海ヨリ乗船申込ハ上海共同租界黃浦灘道第三一號、日本郵船上海支店

(ロ) 基隆ヨリ乗船申込ハ大阪商船所屬船ニ對シテハ臺灣基隆市大阪商船基隆支店、近海郵船所屬船ニ對シテハ臺灣基隆市近海郵船基隆支店

三、電報申込ノ際ハ本申合ニ依ル申込ナルヲ明ニスル爲「赴任」ナル語ヲ電文ニ冒頭シ尙發信者官氏名ヲ電文ノ末尾ニ明記ス

申込船名、同船出港豫定日及乗船地ヲ明ニスルコト勿論ナリ

赴任、十二月・日・發・丸(乗船地・船)

室豫約依頼ス海軍、謹某

四、乗船券ハ全テ乗船地ノ會社本社又ハ支店(出張所)ニ於テ準備發賣ス

五、船室ノ割當ハ乗船後當該船事務長ニ於テ乗船中ノ先任佐官ト協議ノ上決定ス

經給第八二號

昭和十三年十一月二十一日

海軍省經理局

關係各廳御中
 戰時給與取扱方ニ關スル件通知
 首題ニ關スル昭和十二年經給第二七號第四號中「一時
 往復ノ艦船乗員ヲ除ク」ヲ削リ昭和十三年十一月一日
 以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

○ 辭 令

海軍少將 野村 將三
 海軍燃料廠實驗部長缺員中同部ノ收入ノ歳入徴收官
 ヲ命ス
 海軍燃料廠實驗部長缺員中同部ノ支拂ニ屬スル經費
 ノ支出官ヲ命ス(海軍省)
 海軍技術會議議員海軍少佐 山田 盛重
 海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス
 海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス
海軍航空本部造兵監
 教官海軍機關中佐 近藤 龍
 大阪監理官ヲ命ス(以上海軍省)
 海軍中佐 矢 牧 章
 第一課勤務ヲ命ス(社団法人海軍省人事局)
 海軍大佐 鍋島 俊策(艦本)
 (各通) 海軍中佐 永井 宏明(伊壹潛)

伊號第七十五潜水艦審議委員ヲ命ス
 (各通) 海軍大佐 三 戸 壽
 海軍中佐 岡本 義助
 伊號第七十五潜水艦審議委員ヲ免ス(以上海軍
 艦政本部)

○ 雜 款

○司令驅逐艦復歸
 第二十六驅逐隊司令ハ十一月二十日司令驅逐艦ヲ檢ヨ
 リ葦ニ復歸セリ
 ○司令砲艦變更
 第三砲艦隊司令ハ十一月十九日司令砲艦ヲ會寧丸ヨリ
 京畿丸ニ變更セリ
 ○軍艦利根行動豫定
 地 名 着 發
 長 崎 十一月二十一日
 横 須 賀 十一月二十四日
 ○特務艦室戶行動豫定
 地 名 着 發
 吳 十二月三日
 佐世保 十二月四日
 五日

<p>鎮海 六月九日 舞鶴 十二月九日 吳 十二月八日 長崎 十二月八日 佐保 十二月八日 吳世保 十二月八日</p> <p>二十一日 十九日 十九日 十九日 二十一日</p> <p>十七日 十六日 十九日 十九日 二十一日</p>	<p>○郵便物發送先 軍艦利根宛 自今 横須賀</p> <p>特務艦室戸宛 十二月二日迄ニ到達見込ノモノハ 同 四日迄ニ 同 吳 同 九日迄ニ 同 佐世保 同 十五日迄ニ 同 舞鶴 同 二十日迄ニ 同 吳 共ノ後ハ 吳 第四砲艦隊宛 自今 吳</p>	<p>○艀裝員事務所撤去 第七號驅潛艇艀裝員事務所ハ十一月二十日撤去セリ</p>
--	---	--

○艦船所在 指印ハ二ハホシヲ要セズ

○十一月二十二日午前十時調

【横須賀】 對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城▲春日▲

長門▲、口陸奥、▷那珂、口鳥海、摩耶▲

▷蒼龍、木曾、赤城

口曉、漣、狹霧、口響▲、雷▲、電▲、口天霧、

朝霧、夕霧

口伊二▲、伊三、伊四▲、口伊六▲、伊七▲

掃二、掃六

富士▲、洲埼

(飛龍)▲、(高崎)▲、(劍埼)▲

【長浦】口旗風、口秋風、羽風、山雲、口夏雲、朝雲、

峯雲、沖風、神風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、

伊五、口伊一二三、伊一二四

掃五

【石川島】 太刀風▲

(掃一○)▲

【浦賀】 北上▲

夕風▲

(霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲

【館山】 澤風▲

波風、早苗

大泊

【函館】

若竹▲、吳竹▲

矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲、

加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、

▷大鯨、▷熊野、鈴谷、三隈、▷神通、龍驤

夕顔、口菊、葵、萩、磯波▲、口初雪、白雪、

吹雪、口浦波▲、綾波、▷矢風、口白雲、

薄雲、叢雲、東雲、口朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一▲、口伊五三▲、伊五五、

口呂三四、呂三三、口伊五七、伊五六、

伊五八、口伊七二、伊七三、伊七一、

口伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、

口伊一一一、伊一一二、口伊七〇、伊六八

雁 攝津、間宮、襟裳、石廊

(千代田)▲、(伊一六)▲

【大阪】 (黒潮)▲

【神戸】 伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】 早鞆▲

(瑞穂)▲

【玉】 (掃七)▲

【因ノ島】 松風▲、春風▲

【江田内】 平戸▲

【舞鶴】 吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲、敷波▲、帆風

伊五二▲

(叢)▲(陽炎)▲(掃九)▲

【佐世保】

榛名▲、那智▲、常磐▲、▷名取▲、青葉、

衣笠、▷霧島▲、金剛▲、由良、▷阿武隈

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、堇▲、夕月▲、

▷若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、▷夕風▲、

朝風▲、▷大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、峯風、

▷如月、卯月、彌生、沼風

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▷呂六六、

呂六五▲、呂六七、▷呂六八、呂六三、

▷伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊六四、

伊六一、伊六二、伊六九

敷島▲、知床

(明石)▲(伊一八)▲

羽黒▲

佐多▲

(筑摩)▲

【鎮海】▷葦、楡、柿

【羅府】尻矢

【作業地】▷出雲、▷安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、

▷川内、▷足柄、沖島、▷球磨、▷妙高、多摩、

▷天龍、龍田、▷長良、▷加賀、神威、能登呂、

勝力、千歲、迅鯨、▷嵯峨、▷磐手、八雲、

【航海中】

室戸 (二十二日神戸發—吳—)

駒橋、利根

栗、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、

▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、

涼風、山風、▷水無月、長月、▷薄、藤、

葛、▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、睦月、

望月、三月月、▷追風、疾風、▷蓼、蓬、

菱、▷島風、汐風、灘風、旱月、▷朧、

曙、潮、▷野風、文月

▷華、鶴、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、

真鶴、▷鳩、鷺、雉

▷掃四、掃一、掃三、▷掃一六、掃一三、

掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

▷朝日、膠州、鶴見、隠戸、鳴戸、野島

附錄 中支及臺灣方面行便船
 一、中支方面
 (昭和十三年十一月二十二日公報(部内限)別紙)
 (中支航路六二五四号ノ別紙)

(イ) 神戶、門司、長崎、上海間
 上海丸、大丸、長崎丸、門司丸、神戶丸
 日本郵船

(イ) 往航

船名	發	着	船名	發	着
大丸	十二月一日	十二月四日	神戶丸	十二月一日	十二月三日
長崎丸	十二月八日	十二月十一日	門司丸	十二月八日	十二月十日
長崎丸	十二月十一日	十二月十四日	長崎丸	十二月十一日	十二月十三日
大丸	十二月十八日	十二月二十一日	長崎丸	十二月十八日	十二月二十日
長崎丸	十二月二十二日	十二月二十五日	大丸	十二月二十二日	十二月二十四日
長崎丸	十二月二十五日	十二月二十八日	長崎丸	十二月二十五日	十二月二十七日
大丸	十二月三十一日	一月三日	長崎丸	十二月三十一日	一月一日

(註) 派助丸、照國丸ノ神戶
 出港ハ午後三時
 上海着時刻不明

(ロ) 復航

船名	發	着	船名	發	着
神戶丸	十二月二日	十二月五日	大丸	十二月二日	十二月四日
門司丸	十二月九日	十二月十二日	長崎丸	十二月九日	十二月十一日
長崎丸	十二月十二日	十二月十五日	長崎丸	十二月十二日	十二月十四日
長崎丸	十二月十五日	十二月十八日	大丸	十二月十五日	十二月十七日
大丸	十二月二十二日	十二月二十五日	長崎丸	十二月二十二日	十二月二十四日
長崎丸	十二月二十五日	十二月二十八日	長崎丸	十二月二十五日	十二月二十七日
長崎丸	十二月二十八日	一月一日	大丸	十二月二十八日	十二月三十日
大丸	一月一日	一月三日	長崎丸	一月一日	一月二日

(註) 白山丸、榎名丸ノ上海發時刻不明

二、臺灣方面
 (イ) 神戶、門司、基隆間
 (高砂丸及蓬萊丸
 大丸商船
 近海郵船)

船名	發	着	船名	發	着
高砂丸	十一月廿九日	十二月二日	高砂丸	十一月廿九日	十二月一日
蓬萊丸	十二月六日	十二月九日	蓬萊丸	十二月六日	十二月八日
高砂丸	十二月十三日	十二月十六日	高砂丸	十二月十三日	十二月十五日
蓬萊丸	十二月二十日	十二月廿三日	蓬萊丸	十二月二十日	十二月廿二日
高砂丸	十二月廿七日	十二月三十日	高砂丸	十二月廿七日	十二月廿九日
蓬萊丸	一月三日	一月六日	蓬萊丸	一月三日	一月五日
高砂丸	一月十日	一月十三日	高砂丸	一月十日	一月十二日
蓬萊丸	一月十七日	一月二十日	蓬萊丸	一月十七日	一月十九日
高砂丸	一月廿四日	一月廿七日	高砂丸	一月廿四日	一月廿六日
蓬萊丸	一月三十一日	二月三日	蓬萊丸	一月三十一日	二月一日